

滴一滴

日本人を見習おう。落ち着いて行動し助け合おう。被災者がそんなふうに呼び掛け合っていたという。先週、マグニチュード(M)7.2の地震に見舞われたトルコ東部の都市でのことである▼食料配給の列に整然と並び、妊婦に先を譲る市民もいた。東日本大震災で日本人が見せた振る舞いが、無言のお手本になっているとすればうれしい▼トルコは有数の親日国として知られる。その原点は121年前、和歌山県沖の太平洋で起きたトルコ軍艦「エルトゥール号」沈没事故とされる。明治天皇に親書などを献上し帰国の途上で暴風に遭った▼多くの乗

組員が亡くなったが、地元住民の献身的な介抱により69人が助かった。トルコでは歴史教科書に取り上げられるなど日本人への恩義が語り継がれてきた▼そんな歴史があり、また同じ地震多発国でもある。東日本大震災ではトルコの救助隊が宮城県で活動し、今回は岡山市に本部を置く国際医療ボランティアAMDAなど日本の医師がトルコで負傷者を治療した▼震災直後の東北地方に寒波や雪が追い打ちをかけたのと同様、トルコでは例年より早い冬が訪れ、屋外でのテント生活を寒さが襲っている。積雪期を前に、仮設住宅建設などで日本の援助を求める声もある。できる限りの支援を届けたい。